

NPO法人チーム三河リカバリー（旧アフガン復興支援機構）～これまでの歩み～

安城市桜町17番5号 APビル4F E-Mail:kerosan@aria.ocn.ne.jp

2002年（平成14年）『アフガニスタンへ病院用ベッドを贈る会』を設立

2005年（平成17年）NPO法人格取得『特定非営利活動法人アフガン復興支援機構』設立

2015年（平成27年）『特定非営利活動法人チーム三河リカバリー』に名称変更

○更生病院や八千代病院等の医療用ベッド等寄贈（360台）

2002年（平成14年）「アフガニスタンへ病院用ベッドを贈る会」が安城市の更生病院の新築移転に伴い、不要となった多くの医療用ベッド等をアフガニスタンの病院へ寄贈し、苦しんでいる人々に役立ててもらいたいと考え、「安城まちづくり市民会議」のメンバーの有志が集まり、発足した。110台のベッドを譲り受け、同年8月、アフガニスタンを訪問して病院の選定のための調査を行い、翌年の2月、アフガニスタン・カブール市を中心に9つの病院へ寄贈した。2005年（平成17年）安城市の八千代病院の新築移転に伴い150台のベッドを譲り受け、アフガニスタン・バーミヤンの3つの病院へ寄贈した。2006年（平成18年）にパキスタン北部大地震の支援のため、2つの病院へ、100台のベッドを寄贈し、合計360台のベッドを寄贈した。



○戦災孤児「ウミード」・小中高校・バーミヤン等へ学習用机と椅子の等寄贈（1,300セット）

2004年（平成16年）安城市内の小中学校で不要となった学習用の机や椅子、300セットを譲り受け、アフガニスタン・カブール市内にある戦災孤児と未亡人の自立支援施設「ウミード」へ2005年（平成15年）4月に寄贈した。



2007年（平成19年）学習用机と椅子340セットをアフガニスタン・バーミヤン地方にあるエラク女子中学校に女子学生の教育環境整備のため寄贈した。

2010年（平成22年）戦災孤児・未亡人自立支援のため「ウミード」とコージャハサンの戦災孤児学校支援に学習用机・椅子（330セット）、中古ミシン（12台）、文房具等を寄贈した。

2018年（平成30年）安城市内の小中高校から学習用机と椅子（330セット）、体操用マット（23枚）、数多くの体操服やシューズと学用品等を譲り受け、大勢の方々のご支援によりアフガニスタンへ向けて出航させることができた。総合計で1,300セット寄贈した。



○ペシャワール会代表 中村哲医師 講演会開催（安城市制60周年市民公募事業）

2012年（平成24年）アフガニスタンの啓蒙活動として現地で診療活動を始め、約30kmの農業用水路と約3,000ヘクタールの田畑を復旧した中村哲医師の講演会を実施した。しかし、2019年（令和12年）にアフガニスタンにおいて武装勢力に銃撃されて死去した。これまでにかんがいが行われた土地は約16,500ヘクタールに及んだ。



2011年（平成23年）3月11日に発生した東北大地震の支援ができるように定款を変更。岩手県大船渡市盛町七夕まつり支援、安城の七夕まつりのくす玉50個を搬送。同県陸前高田市、動く七夕まつり支援、安城七夕の大型飾りを寄贈。高田高校支援のため、募金を行った。

2012年（平成24年）に安城七夕まつり、JR安城駅前の「ともまち広場」に於いて、『大船渡&陸前高田の復興を願う店』で物産展及び復興支援グッズを販売。

2013年（平成25年）商工会議所60周年記念事業「EXPO ANJO 2013」において『岩手県気仙の復興を願う店』で被災地の産直市及びまめぶ汁の販売。

○ミャンマーへ消防車寄贈事業（2台）寄贈

2015年（平成27年）安城市から譲り受けた消防車をタウチャン消防署へ寄贈・配備し、2016年（平成28年）2台目の消防車を古都マンダレー西部のモンユワ消防署に寄贈、ヤンゴン市内のタムイ消防署で寄贈式典を開催した。



○インドネシア・ロンボク島へ救急車（1台）寄贈、救急車（3台）寄贈予定

2018年（平成30年）夏、インドネシア・ロンボク島で発災した大地震に対して、緊急支援として衣浦東部広域組合の救急車4台寄贈予定。先んじて、救急車1台をロンボク島に贈りまして、2021年（令和3年）7月15日、チーム三河リカバリーは欠席の中、寄贈式が行われた。



○フィリピン・カビデ州マラゴンドン町へ救急車（3台）消防車（1台）寄贈実施予定

2024年（令和6年）、フィリピンへ奈良県奈良市から買い受けた救急車3台と安城市から譲り受けた消防車1台の計4台を寄贈する予定です。現在、救急車と消防車の整備を進めています。

※皆様、応援のほど、宜しくお願い致します※